



5.7 コウノトリ但馬空港 新型機ATRが就航



コウノトリ但馬空港と大阪(伊丹)空港を結ぶ路線に、新型機ATR42・600が就航した5月7日、コウノトリ但馬空港で歓迎セレモニーと記念式典が開催されました。初フライトを終えた新型機を消防車の放水で歓迎し、同空港の関係者らが到着客をお出迎え。同空港ホールでのセレモニーでは、運行事業者の日本エアコミューター(JAC)代表取締役社長の加藤洋樹さんや県知事の井戸敏三さんらがくす玉を割って就航を祝いました。新型機は、同路線を24年間飛び続けたSAA340B型機と比べて座席数が増え、エンジン音が静かになるなど、客室内がより快適になりました。

《問合せ》都市整備課 ☎23-1712

①コウノトリ但馬空港への着陸態勢に入る新型機②消防放水アーチで歓迎③駐機場エリアをゆっくりと移動する新型機④JAC加藤社長に花束の贈呈⑤新型機を降り空港関係者に歓迎される到着客。豊岡総合高校の生徒が作製したミニランドセルの贈呈も⑥出発機に手を振る空港関係者や市民ら⑦井戸知事やJAC加藤社長、谷衆議院議員、中貝市長らによるくす玉割り

《ATR42-600の仕様》

	ATR42-600	SAAB340B
全長	22.7m	19.7m
全幅	24.6m	21.4m
全高	7.6m	7.0m
標準座席数	48席	36席
最大離陸重量	18.6t	12.9t
巡航速度	556km/h	504km/h
エンジン推力	2,400SHP	1,750SHP

主な特徴

- 室内は2 + 2列座席で居住性向上
- 大型ジェット機並みの静かさ
- 高い燃費性能で環境に優しい
- スロープによる乗降でより安全に



早い！お得！快適！ コウノトリ但馬空港

路線

●但馬⇒大阪⇒東京(乗り継ぎ路線) 平成30年5月7日現在

但馬	+	大阪(伊丹)		+	東京(羽田)	
出発	便名	到着	乗継	出発	便名	到着
9:50 (注1)	JAC 2322	10:30 (注1)		11:30	JAL 114	12:40
18:05	JAC 2324	18:40	19:30	JAL 134	20:40	

●東京⇒大阪⇒但馬(乗り継ぎ路線) 平成30年5月7日現在

東京(羽田)	+	大阪(伊丹)		+	但馬	
出発	便名	到着	乗継	出発	便名	到着
6:30 (注2)	JAL 101	7:35		8:45 (注3)	JAC 2321	9:20 (注3)
15:30	JAL 125	16:35	17:00	JAC 2323	17:35	

(注1) 7月1~31日は、但馬発9:55、大阪着10:35
 (注2) 7月1~31日は、東京(羽田)発7:30、大阪着8:30
 (注3) 7月1~31日は、大阪発8:50、但馬着9:25

※発着時間は、天候その他やむを得ない理由により変更される場合がありますので、搭乗前に確認してください。

主な運賃(片道)[但馬=大阪](助成後)

- ▼大人普通運賃 6,200円
- ▼小児普通運賃 3,100円
(3歳以上12歳未満に適用)
- ▼ウルトラ先得割引 3,100円~
- ▼先得割引 3,800円~
- ▼特便割引1 4,100円~
(タイプC 4,100円、タイプB 4,300円、
タイプA 4,500円)

大人最安
3,100円

助成対象者

- ▼市内在住または在勤の方
- ▼本市出身の方やその家族
(市内の実家に帰省した場合に適用)
- ▼商用で市内の企業や事業所にお越しの方

豊岡市 空港 助成

検索



1



3

2

①コウノトリ但馬空港で最後の着陸態勢に入るサーブ機②サーブ機を降り空港関係者や豊岡総合高校の生徒らに歓迎される到着客③最終便に乗り込む搭乗客。サーブ機のシールやミニランドセルなどの記念品が入った空港オリジナルバッグを贈呈

平成6年の開港以来、コウノトリ但馬空港と大阪空港を結ぶ路線を飛び続けてきたサーブ機が新型機の就航に伴い退役となりました。
 最終フライトとなった5月6日夕、ありがとうサーブと銘打ったセレモニーが開催され、乗客への記念品の贈呈や最終便の見送りが行われました。
 24年間で延べ約59万8千人を運んでくれたサーブ機。長年にわたり、ありがとう。

ありがとう
さようなら
サーブ